

「脳損傷とはこういうことだったのか」専門家が自ら経験してわかったこと

# 「話せない」と言えるまで

新刊

## 言語聴覚士を襲った高次脳機能障害

関 啓子 神戸大学大学院保健学研究科 客員教授

### ■本書の特徴

本書は、失語症など高次脳機能障害の専門家である著者が、心原性脳梗塞で倒れてから回復に向かうまでの自らの体験を、主治医、門下のスタッフらの協力のもとまとめたもの。発症当時から急性期病院での治療・経過、退院後の生活などが時系列でまとめられている。専門家ならではの、その知識に裏打ちされた“当事者体験”による科学的な分析を交えた筆致が注目される1冊。



●A5 頁 256 2013年  
定価 2,625 円  
(本体 2,500 円 + 税 5%)  
[ISBN978-4-260-01515-8]

### ■目次

- 第1章 運命の日  
救急外来にて／思い起こせば
- 第2章 急性期(2009年7月11日～8月5日)  
入院後の経過／私から見た入院当初の医学的状況／病棟での生活／家族から見た私の経過／チーム名谷の活動／携帯メール／石合教授来神／花火大会の一日／転院
- 第3章 回復期(2009年8月5日～11月21日)  
回復期とは／永生病院に到着／永生病院での入院生活／訓練経過／第1期(8月5日～8月23日)／第2期(8月24日～9月19日)／第3期(9月19日～11月21日)
- 第4章 復職準備期(2009年11月22日～2010年5月6日)  
この時期について／リハビリテーション／その他の出来事／対象者の生活を具体的に想像すること／頭の中の算盤／自宅生活上の工夫
- 第5章 復職期(2010年5月6日～2011年3月31日)  
引っ越し／復職／高専賃での生活／活動再開／生活の工夫／ラジオ出演／退職の決意／上肢のリハビリテーション／言語および高次脳機能障害の自主リハビリ／退職／私の脳梗塞を振り返って

●2月25日(月)より弊社ホームページの本書詳細ページに実際の動画や音声を紹介いたしますので、本書とあわせてご利用ください



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23  
【販売部】 TEL 03-3817-5657  
FAX 03-3815-7804  
E-mail sd@igaku-shoin.co.jp  
http://www.igaku-shoin.co

〈書店名〉

書店記入欄:「話せない」と言えるまで(定価 2,625 円)  
[ISBN978-4-260-01515-8]

注文冊数

冊